



すまいる新聞

第92号(12月号)
平成23年12月1日発行

大空へ。高く、高く。。。

◇ もくじ ◇

大空へ。高く、高く…	1P
ラディッシュが大きくなってきました!	1P
11月誕生会	2P
“匠の一品”宇大附属文化祭	2P
みんなのげんき、見つけました	3P
編集後記	4P

11月5日(土)、東日本大震災の影響で見送りとなっていた「ふれあい熱気球」が行われました。開催場所が町民広場から麒麟体育館・運動場に変更になり、準備が大変だったようです。けれど、スタッフの方々のおかげで、熱気球を楽しみにしていた子ども達の沢山の笑顔を見ることが出来ました。実行委員の方々、本当にありがとうございます。



今回は、35家族109名の参加者と、90名以上のボランティアの参加がありました(さらに、高根沢町のゆるキャラ、“たんたん”と“ももたん”が初めての参加で、会場は盛り上がりました)。会場は違っても、皆さん慣れている様子で、空き具合を見て熱気球を最初に乗る人、まずは模擬店やお楽しみコーナーで何をやっているのか見に来る人。どの参加者も、ウキウキとした様子で、嬉しそうな表情をしていました。もちろん、すまいるのお友達も存分に楽しんでいて、熱気球に3回も乗った子もいました。熱気球日和の天気で、1日があっという間に過ぎていく様でした。(すまいる職員は、お楽しみコーナー

と被災地の授産品販売・ジュース販売を行いました、大変お世話になりました)。

次回は、来年の7月7日を予定していて、今から待ち遠しい想いです。

ラディッシュが大きくなってきました!

記事：人見真由さん(南那須特別支援学校高等部2年)

すまいるの畑で、10月末からラディッシュを育てています。すまいるの子ども達が、日々、手をかけているので、元気に育っています。先日、間引きをした時の様子を、人見真由さんが記事にしてくれました。それでは真由さん、お願いします。

11月4日、間引きをしました。

私達は、間引きをしたスプラウトを使って、おやつを作りました。

まず、土を水で流しました。

次に、塩をふって、よく揉み込みます。

さあ、塩もみの出来上がりです。



クイズ、ハリポッターの世界へようこそ!

小堀天音さん(南那須特別支援学校小学部6年) 太田千晶さん(宇大附属特別支援学校高等部2年) 誕生会



AKB48の曲が流れる中、小堀天音さん、太田千晶さんが入場してくると、色とりどりの紙吹雪が2人に掛けられます。みんなからは、おめでとうの声とたくさんの拍手が、贈られました。

プログラムのクイズが始まると、みんなはどんな問題が出るか、ドキドキ、ワクワクです。難問が出されるであろう用紙が登場すると、キャラクターや写真がたくさん貼ってありさらに歓声が。天音さんが出題したのは、ディズニーの問題です。一言一言、ゆっくり、皆に聞こえるように話します。答えを知っているはずの天音さんが、「うーん、どっちかな?」と迷っています。ナイスなアドリブで皆を盛り上げてくれました。千晶さんは、読書家で「ハリポッター」については、とても詳しいです。今日の問題は、勿論ハリポッターからです。ハリーが通っている学校は、 hogwarts? それともボクワース。みんなはちょっとだけ悩みましたが、冴えた勘とひらめきで答えます。千晶さんはというと、「くすっ」と笑いをこらえながらも、正解のブースに移動していました。クイズは大盛り上がりで、「やったー」、「さんねん」、正解しても、間違っても楽しくて、笑ってしまいます。天音さんの大好きなディズニーと千晶さんのハリポッターの2つの世界を皆でわいわいと旅行をしたような、そんな誕生会でもありました。

天音さん、12歳、千晶さん、17歳のお誕生日あめでとうございます。

匠の一品

~宇大附属文化祭、さをり班をレポートせよ!~

この記事を書きながら、手元の筆入れに目をやると、ふっと笑みがこぼれます。黄、桃、藍、橙…色とりどりの糸で編まれたさをり織りの作品。これ程、鮮やかなのに、主張しすぎず、生活に馴染むような風合いが気に入っています。先月、太田千晶さんの通う、宇大附属特別支援学校の文化祭で購入したものです。

千晶さんは、高等部2年生。将来へ向けて、学校の授業で作業を行っています。文化祭では、作業で作った製品の販売があり、千晶さんは、さをり織り体験のブースを担当していました。いつも明るく言葉数も多い彼女が、この日は緊張した面持ちでいる様子から、どれだけ真剣に取り組んでいるかが、伝わってきました。

千晶さんは、言葉を選んで「どうぞ。」と、優しく声をかけてくれました。早速、体験させてもらうことに。横糸を右から左へ通し、トントンと詰める…その作業を繰り返すとのこと。「ふむふむ!」工程はすぐに分かったので、はりきって一糸目。正直、うまく出来る自信があったので、出来上がった部分を見て、赤面でした。きちんと詰めたつもりですが、糸と糸の間から向こう側が見えるほど、間隔が空いてしまいました。「トントン」の力加減が、弱すぎたせいです。「これじゃとても、商品には出来ない…。」そう思うと共に、改めて、千晶さんをはじめ、生徒の皆さんが「職人」なのだと思えました。微妙な力加減、色合い、スピーディーな動き、そしてなにより、仕事への向き合い方。

千晶さんは、何も言わず、私が作業を続ける様子を温かく見守ってくれていました。筆入れ、長く大切にに使わせていただきます。



みんなのげんき、見つけました。

南那須特別支援学校学習交流会 “こぶし祭”



11月5日、こぶし祭を見学に行ってきました。1人1人の頑張りやとびっきりの笑顔をお伝えしたいと思います。学校生活最後の“こぶし祭”を迎えた高等部3年の小林知世さん、吉村和弥さんは共に紙工班として、製品のPR、販売と忙しくも充実した1日を過ごしていました。製品販売の教室は、開店前から行列ができる盛況振りで、知世さんは会計担当、和弥さんは販売の担当を。「ありがとうございました」大勢のお客さんで混雑する中、



1人1人に声をかけ、接客態度も素晴らしかったです。日々、丁寧に作り上げてきた製品がテーブルの上できらきらと輝いていました。「作品を買ってください」こぶし祭の前からすまいるでPRをしていた知世さん。その言葉の中には・私たちがずっと頑張ってきたこと・が込められていると製品を見て思いました。



午後の販売で頑張った中・高生の黒内律子さん(高1)は園芸班でリースを、福田拓郎さん(中1)は、手工芸班でさをり織りのテーブルセンター等を販売。自分たちで丹精込めて作った自信作を、胸を張って笑顔一杯でお客さんに勧めていました。賑わう校内を巡



って大きな声で椎茸を宣伝する人見真由さん。椎茸は、早々と完売の文字が掲げられていました。

演技の発表では、中学部の小堀篤史さん(中2)、荒井皇詩さん(中3)は、カスタネット、キーボードで1音1音、澄み切った音色の素晴らしい合奏でした。蜷川冬萌さん(中1)、篠江和さん(中3)は太鼓を。冬萌さんは、練習の時から「ぼっちりだよ」と話していた通り、当日も最高の演奏でした。大太鼓を全身で打つ和さんも、かっこよかったです。



塚原勇樹さん(小3)は、白い衣装がとてもよく似合っ
て、雪の精を元気に演技しました。大金百さん(小4)・
小堀天音さん(小6)は太鼓を、清野大介さん(小6)は
リコーダーを、忍者の学校で力強く、そして優しい音色で
演奏しました。音楽とダンスで『日本を元気にせよ』の指
令を受けたみんなは、エネルギーで頼もしい本物の忍
者のようでした。



この日は、あいにくの雨で肌寒い日でしたが、校内は1日中、元気のパワーでいっぱいでした。



すまいる掲示板

<11月の主な活動>

- 1日 高根沢町介護・障害程度区分認定審査会
フリースペース会議
- 1・8・15・22・29日 フリースペースゆめ
- 4・11・18・25日 フリースペースゆめ(チャレンジ・ステップコース)
- 5日 ふれあい熱気球
- 9日 塩谷地区障害者相談支援専門員連絡会
- 10日 フリースペース那須、研修検討部会
- 15日 地域ケア会議、さくら市子育て支援事業
- 17日 フリースペース那須、りんごグループ教室
- 19日 きのこまつり
- 21日 さくら市障害程度区分認定審査会
- 22日 高根沢町介護・障害程度区分認定審査会
- 28-30日 相談支援専門員現任研修

<12月の主な活動予定>

- 1日 さくら市子育て支援事業
- 2・9・16日 フリースペースゆめ(チャレンジ・ステップコース)
- 6・13・20・27日 フリースペースゆめ
- 6日 フリースペース会議
- 7日 ちえのわ研修
- 8日 フリースペース那須
- 10日 クリスマス会(おもちゃ図書館共催)
- 11日 高根沢町災害対応訓練
- 13日 高根沢町介護・障害程度区分認定審査会
- 14日 塩谷地区障害者相談支援専門員連絡会
- 21日 さくら市障害程度区分認定審査会
- 17日 ケアマネジメント研修
- 20日 地域ケア会議、さくら市子育て支援事業

11月「すまいる」利用状況

<就学児デイサービス事業>合計94人
 { 阿久津小8人、のざわ15人、南那須69人 }
 { 宇大附属2人 }

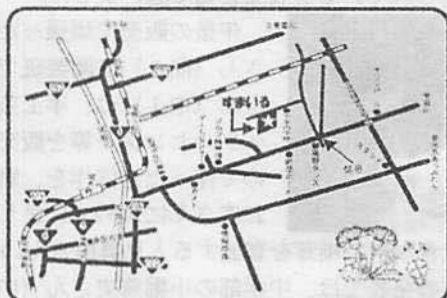
インフォメーション

第10回 あるべき支援を考える会

自閉症の方にとって快適な生活環境とは……?

<テーマ>施設における自閉症支援Ⅳ 自閉症の人の生活力へ生活支援について～<講師>宮一誠先生<日時>平成24年1月14日(土)13時30分～16時30分※受付開始13時<会場>日光市中央公民館 中ホール<定員>80名※先着順。定員に達した場合にはご連絡を差し上げます。<参加費>1,000円<プログラム>【第1部】講演13時30分～15時、【第2部】グループワーク・総評15時10分～16時30分<申込み先>あるべき支援を考える会
 Mail:arubekisien@yahoo.co.jp FAX:036-893-5463<申込締切>平成24年1月7日(土)<共催>社会福祉法人すかい・あるべき支援を考える会

【案内図】



高根沢町障害児者生活支援センターすまいる

塩谷郡高根沢町石末2247-2

TEL028-675-2163 FAX028-675-2274

E-mail t-kinoko@bird.ocn.ne.jp(問合せはこちらへ…)

【編集後記】今年も、インフルエンザ感染のニュースを聞くようになりました。外出時の、うがいや手洗いはもちろんですが、予防接種も早めに受けておきたいものです。効果が出るまでに2週間程かかりますが、1回の接種で(13歳未満は2回)、効能は約5ヶ月保たれるそうです。また空気の乾燥により、ウイルスに対する防御機能が低下するようで、外出時にはマスクの着用、室内では適度な湿度(概ね40%)を保ちましょう。(人)

発行 特定非営利活動法人

とちぎ障害者労働自立センター ゆめ